

(大学院教育学研究科発達教育科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
合計(173科目)			4	340	0	-			14	20	5	0	0	
学位又は称号	修士(教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								
設置の趣旨・必要性														
<p>設置の趣旨・必要性</p> <p>昭和53年6月設置の本学大学院「教育学研究科学校教育専攻(修士課程)」は、これまで、教育諸科学の理論と実践の融合を図ることにより、教育に係る現代の諸課題に科学的・総合的に対応できる学校教員及び教育の専門家の養成を目指してきた。</p> <p>今般、本学では、教職大学院の課程として「教育実践研究科教職実践専攻」を平成20年4月に設置することを計画した。当該計画においては「学校教育に関わる理論と実践の融合を基本とし、理論の応用並びに実践の理論化に関わる諸能力の修得によって実践的指導力を備えた教員を養成するとともに、一定の教職経験を有する現職教員に対しては、確かな指導理論と実践力・応用力を備え、指導的役割を果たし得る教員を養成すること」を目的として掲げた。</p> <p>一方、既設の「教育学研究科」においては、「教育実践研究科教職実践専攻」の設置計画に照応して、教育研究能力を高度に開発するとともに、修士論文研究に代表される学術研究の方法論的基礎の習熟・育成を図り、もって実践的な教育の研究者に必要な諸能力の獲得に資するための体系性を確立することとした。</p> <p>このため当該研究科の「学校教育専攻」にあっては、幼児から青年に至る個々の子どもの成長発達を、教育と深く関連づけて追究し、人間発達研究の実践的かつ高度な展開を図ることができる人材を育成することを目指して、「発達教育科学専攻」に改組することとした。</p> <p>「発達教育科学専攻」の具体的な教育研究内容は、引き続き教育諸科学の理論と実践の融合を基本としつつ、教育学・教育心理学全般の研究成果を土台として、学生各々が専攻する各分野(教育学、教育心理学、幼児教育、生活科教育、日本語教育、情報教育)について実践的に追究し、また、専攻分野以外の分野を相互補完的に学修し、広い視野に立って学識を深めることのできる構成とした。</p>														
<p>教育課程編成の考え方・特色</p> <p>発達教育科学専攻における教育にあっては、学生は教育学、教育心理学、幼児教育、生活科教育、日本語教育、情報教育の六つの「領域」に分かれて、授業科目を履修し、学位論文の作成等に対する指導を受けるものとする。この際、教育学・教育心理学全般の研究成果を土台とするという趣旨から、教育学及び教育心理学の「領域」が開設する授業科目について、すべての本専攻所属学生が所定の単位を修得するものとする。また、広い視野に立って学識を深める趣旨から、学生自身の所属以外の「領域」が開設する授業科目及び教育学研究科の「教科に係る専攻」が開設する教科教育学に関する授業科目についても、すべての本専攻所属学生が所定の単位を修得するものとする。</p> <p>このようにして、本専攻は、本学の学術的な特性を生かした専門的カリキュラムをもって、学生の主体的研究能力・教育構想総合力・実践的分析力の開発に資するものとする。</p> <p>なお、従前の「学校教育専攻」は、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭(11教科)、高等学校教諭(15教科)、養護教諭の専修免許状授与に係る課程の認定を受けており、「発達教育科学専攻」に改組の後も、引き続き、これらの一種免許状を有する者が所定の授業科目の単位を修得することにより、当該一種免許状に応じた専修免許状の授与のための所要資格を得ることができるよう、教育課程を編成するものとする。</p>														
<p>各領域の目的については、以下に示すとおりである。</p>														
<p><b>【教育学領域】</b></p> <p>本領域では、教育哲学・教育史・教育社会学・教育方法学・教育制度学・社会教育学・進路指導等の諸学問分野を基礎としながら、誕生から死に至る間の、家庭・地域・学校・社会等のあらゆる場所における「人を育てる」営みについての、原理的・理論的・実証的・実践的な研究を進める。そのうえで、これらについての深い洞察を持った、学校教育、社会教育、教育行政、司法福祉、キャリア支援等に関わる高度な職業人を養成する。</p>														
<p><b>【教育心理学領域】</b></p> <p>本領域では、教育心理学(学習や教育評価)・発達心理学・社会心理学・臨床心理学等の心理学の研究視点から、教育という多面的で重層的な活動や実態を、実験や調査に基づき実証的に捉えることのできる学生を育成することを目的とする。</p>														
<p><b>【幼児教育領域】</b></p> <p>人間形成の基礎を培う時期である乳幼児期の発達と教育を研究対象とする本領域は、主として幼児教育学、幼児心理学、保育内容学、児童福祉学の専門領域から構成されている。これらの幅広い専門的知識・理論を実践と有機的に関連させながら深め、理論と実践に関する研究能力を身につけることにより、これからの幼児教育の創造発展に寄与できる高い専門性と実践的指導力を有した保育者や、保育者養成に携わることのできる保育研究者の育成を目指す。</p>														

(大学院教育学研究科発達教育科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	
			<p>【生活科教育領域】                      「生活科」や「総合的な学習」は“子どもたちの「生きる力」を培う創造的な教育活動”であり、その実践では、子どもの興味・関心や身近な生活課題、教科横断的な課題などにもとづく体験的な学習、調査活動的な学習、問題解決的な学習などを重視している。子どもたちが自分の願いや目当て、課題などを見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、これらをよりよく成就・解決したり、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組み、自分の生きがいや生き方を考えたりする学習を求めているからである。本領域は、このような「生活科」や「総合的な学習」の理論を学び、実践に必要な、感性や情性、知性などが豊かで、高度な構想力や指導力、分析力などを発揮できる力量豊かな教師の養成を目指す。</p> <p>【日本語教育領域】                      本領域では、外国語あるいは第二言語としての日本語教育に関する諸問題に対し、社会、文化、言語、教育などの広い視野からの思考に基づきアプローチする。                      日本語そのものの研究教育という点で、学校教科としての国語教育と共通点を持ちながらも、日本語を母語としない児童生徒や成人を対象とする日本語教育においては、例えば、世界の諸言語と比べて日本語がどのような特徴をもっているのか(言語類型論、対照言語学)、人が外国語を学ぶ際にどのような心理的プロセスを踏むのか(第二言語習得)、子どもの第二言語習得にとって何が障害になりやすいのか(児童日本語教育)といった事柄(学問分野)について、より高度で専門的・実践的な研究教育を行う。さらに、近年愛知県を筆頭に日本国内で増加している日本語指導が必要な外国人児童生徒の教科学習等に関する課題についても、重点的に研究教育を行う。                      また、今後、学校教育現場を担うこととなる場合に資するため、日本語教育領域が開設する授業科目の一部は、他の専攻・領域の大学院生も履修可能な、研究科共通の選択必修科目として開設する。                      もって、本領域は、国内外の教育機関で日本語教育に従事し異文化理解に貢献する人材並びに日本語指導が必要な外国人児童生徒の教育に関する専門性と実践力を有する教師の育成を図り、社会的要請に応えることを目指す。</p> <p>【情報教育領域】                      本領域では、情報教育のあり方を含め、学校教育現場における情報教育に関する諸問題の研究を行うとともに、広く情報技術を活用した教育支援のあり方、新しい指導法の開発について研究する。                      さらに、学校現場で必要とされる、サーバーの管理運営やメディア教材開発などの実践技術の修得も可能になっている。本領域ではこうした情報教育関係の知識、研究態度を身につけ、学校教育現場や教育関連分野で情報教育の指導者・研究者となり得る人材の育成を目指す。                      また、現代的な教育課題の一つである情報教育領域に関する研究・教育内容を教育学研究科の基礎的素養の一部として位置づけ、研究科全体に向けて授業を提供する。すなわち、幼児教育から大学教育まで、発達段階に応じた情報リテラシー教育、各教科におけるコンピュータ利用などを学習することを通じて、教科の枠を越えて、情報化社会に対応できる教員の育成に寄与する。</p>									
卒業要件及び履修方法						授業期間等						
本専攻の修了要件は、2年以上在学し、以下に示す所定の30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。 ・発達教育科学専攻科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・16単位 (領域別内訳) 教育学領域 /自領域科目:12単位、教育心理学領域科目:2単位、 教育学領域及び教育心理学領域以外の領域科目:2単位 教育心理学領域 /自領域科目:12単位、教育学領域科目:2単位、 教育学領域及び教育心理学領域以外の領域科目:2単位 幼児教育領域、生活科教育領域、日本語教育領域、情報教育領域 /自領域科目:10単位、教育学領域科目及び教育心理学領域科目:各2単位、 教育学領域、教育心理学領域及び自領域以外の領域科目:2単位 ・教科教育学に関する科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・4単位 ・特別研究科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4単位 ・自由選択科目(自所属専攻及び他専攻開設科目)・・・・・・6単位						1学年の学期区分	2学期					
						1学期の授業期間	15週					
						1時限の授業時間	90分					

## 愛知教育大学大学院の基本組織の改組対照表

(現行 平成19年度)

### 教育学研究科

専攻	領域等		入学定員
学校教育 専攻	教育学 分野	教育学	27人
		教育心理学	
	幼児教育 分野	幼児教育学	
	生活科 教育分野	生活科 教育	
	総合教育 開発分野	環境教育	
国際理解 教育			
国語教育 専攻	国語科教育学		7人
	国語科内容学		
英語教育 専攻	英語科教育学		9人
	英語科内容学		
社会科 教育専攻	社会科教育学		14人
	社会科内容学		
障害児 教育専攻	障害児教育学		12人
数学教育 専攻	数学科教育学		11人
	数学科内容学		
理科教育 専攻	理科教育学		17人
	理科内容学		
芸術教育 専攻	音楽 分野	音楽科教育学	19人
		音楽科内容学	
	美術 分野	美術科教育学	
		美術科内容学	
保健体育 専攻	保健体育科教育学		8人
	保健体育科内容学		
家政教育 専攻	家庭科教育学		9人
	家庭科内容学		
技術教育 専攻	技術科教育学		5人
	技術科内容学		
養護教育 専攻	養護教育学		3人
学校教育 臨床専攻	学校教育臨床 (臨床心理学コース)		9人
合 計			150人

(改編後 平成20年度)

### 教育学研究科

専攻	領域等		入学定員
発達教育科学 専攻	教育学		20人
	教育心理学		
	幼児教育		
	生活科教育		
	日本語教育 情報教育		
特別支援教育 科学専攻	特別支援教育科学領域		5人
養護教育専攻	養護教育学		3人
学校教育臨床 専攻	学校教育臨床 (臨床心理学コース)		8人
国語教育専攻	国語科教育学		5人
	国語科内容学		
英語教育専攻	英語科教育学		4人
	英語科内容学		
社会科教育 専攻	社会科教育学		9人
	社会科内容学		
数学教育専攻	数学科教育学		7人
	数学科内容学		
理科教育専攻	理科教育学		13人
	理科内容学		
芸術教育専攻	音楽 分野	音楽科教育学	14人
		音楽科内容学	
	美術 分野	美術科教育学	
		美術科内容学	
保健体育専攻	保健体育科教育学		6人
	保健体育科内容学		
家政教育専攻	家庭科教育学		3人
	家庭科内容学		
技術教育専攻	技術科教育学		3人
	技術科内容学		
合 計			100人

### 教育実践研究科(教職大学院)

専攻	領域等	入学定員
教職実践専攻	教職実践基礎	50人
	教職実践応用	